

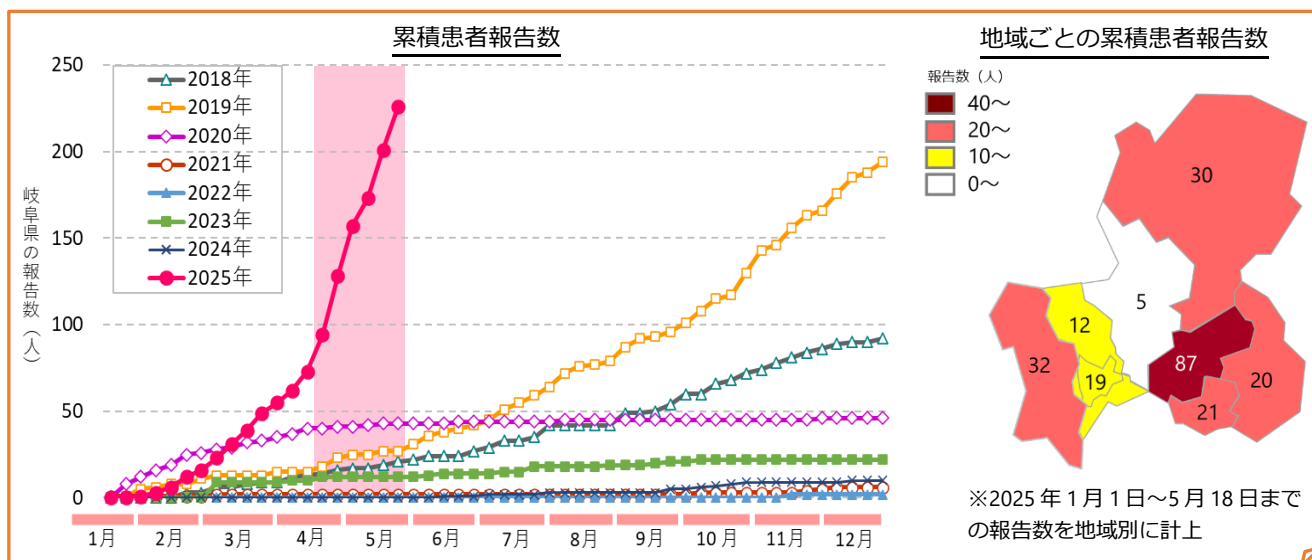
ぎふ感染症かわら版

令和 7 年 5 月 22 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



百日咳が流行しています

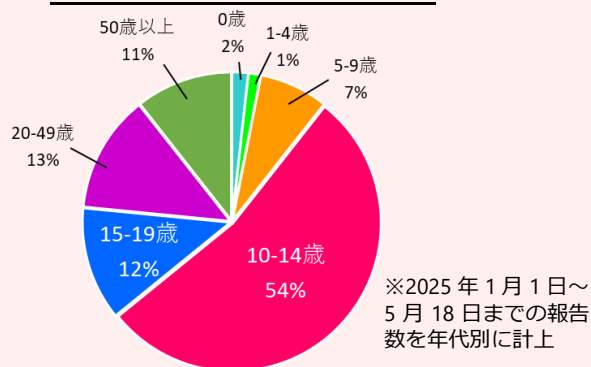
令和 7 年は全国で百日咳の感染報告が相次いでいます。岐阜県でも 4 月に感染者が急増し、既に 200 人以上の報告があります。特に可茂地域で感染者が多く、また西濃、飛騨地域でも感染者が多数出ています。



今年の傾向

百日咳は、15 歳未満の小児を中心に幅広い世代で発病しますが、今年は特に **10 代の患者が多い傾向**があり、学校などで感染が広がっている可能性があります。流行している地域では、人の咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、菌に触れた手指などを介した**接触感染**に特に注意が必要です。

令和 7 年の感染報告数の年代別内訳



治療と予防について

- ・ 咳が長引く場合は、早めに医療機関への受診をお願いします。
- ・ 日常での感染対策（手洗い、マスクの着用や咳エチケットなど）をお願いします。
- ・ 百日咳はワクチンで予防が可能です。1 歳未満の乳児（特に 6 カ月未満の乳児）は重症化することがありますので、**生後 2 か月になったら早めに 1 回目の接種を始め、その後 3 回（計 4 回）の接種を必ず受けましょう（定期接種）**。また、任意接種となりますが、5～6 歳及び 11～12 歳を対象とした三種混合ワクチンの接種も可能ですので、希望する場合はかかりつけの医療機関にご相談ください。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

